

**SVJG** 株式会社 シモダイラ

時代に先駆けてアルミフレーム扉を発売した弊社は、時代ごとに新 しいアルミフレーム扉を発表してきました。現在も、新アルミフレーム 扉を3タイプ発売し、世に問いかけています。

#### 1. 合わせガラスアルミ建具扉「トルエノ」

ガラスの間に布やデザインフィルムを挟み込むことで、高級感漂う空間が演出できます。「STAGソフトクローザー」(両方向タイプ)を組み込んでいるので静かに開閉できます。

#### 2. 前面ガラスの「VPZ」扉

カラーガラスの他、半透明のガラスも使用できるようになりました。オプションで「セラミックパネル」を貼ることも出来ます。

3. J型、U型手掛けを組み込んだ「アルミフレームJ型&U型」 アルミフレームの戸先にJ型、U型の手掛けを造形した新型扉です。 手掛けを別途用意する必要がありません。ガラスの裏側に鋼板を貼り 込むことで、マグネットでメモ等を貼ることも出来ます。







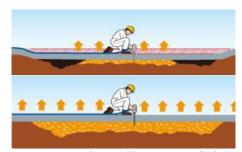


トルエノ

### こんなお話も

(株)シモダイラは、特定建設業許可「東京都知事 許可(特-30)第94014号」の他、一級建築事務所の登録「東京都知事登録 第63132号」を取得しました。リフォーム工事の他、塗装、防水工事等を受注、施工できるようになりました。

最近では、コンクリートを壊さずに、沈んだ床を水平にする画期的な「テラテック工法」を受注できるようになりました。 下図を参照ください。



コンクリートの床に孔を開け、テラテック樹脂を 注入して施工



ホームセンター床が、35cm沈下状態



約5000㎡の沈下を19日間の工事で、業務を止めること無く施工完了

■所在地:東京都台東区下谷3-13-11

■電話番号:03-3873-4126

■ホームページ: www.shimodaira.co.jp/

### 💠 住友精化株式会社



我々は世界の変化を先取りし、 独自性のある自由な発想で驚きを提供し、 自らも成長し続けることにより、 地球と人々のくらしに薄いURUのDを与えます。



大阪本社

住友精化は1944年、食糧増産という当時の社会問題の解決を目的に肥料会社としてスタートしました。その後、主力事業を化学製品の製造に 転換し、それまでに培った技術基盤を生かして、紙おむつの原料である吸水性樹脂、医薬中間体、半導体材料ガスなどの製品を開発・製造・販売 しています。

「地球と人々の暮らしにURUOIを与えます」のスローガンのもと、人々の健康で快適な暮らしを実現し、社会の発展に貢献するために、日々新たな課題に挑戦しています。



中国(上海)の技術サービス拠点

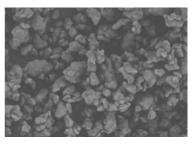
機能化学品では、粉末樹脂、水溶性ポリマー、エマルジョン、ラテックス、有機合成品などの製品を製造・販売しています。

粉末樹脂事業は、1969年の千葉工場設立以来、金属コーティング用の粉体塗料 や樹脂改質、ホットメルト接着剤、焼結、FRP改質剤、顔料の分散剤、インキの添加 剤など幅広い用途で用いられる製品を提供しております。

住友精化の製品は、海外にも輸出され、さまざまな用途に使われています。これからも、ますますグローバル化する経済環境の下、積極的な海外展開を目指します。

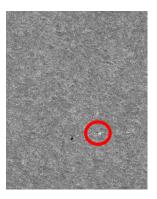
### こんなお話も

フローセンUF(微粉末ポリエチレン)は千葉県八千代市にある工場で製造し、水回り住宅設備の原料となるSMC/BMCの低収縮剤・表面平滑性の向上剤としてご使用いただいております。フローセンUFは色相と異物管理に優れ、またロット間のバラツキが少なく、市場から高い評価をいただいております。



フローセンUF20S拡大写真

PEO(ポリエチレンオキサイド)は兵庫県姫路市にある工場で製造し、ティッシュペーパーやトイレットペーパーなどの製紙用途で使用いただいております。PEOはパルプの均一分散に効果があり、柔軟性や紙力強度の改善に貢献いたします。また、抄紙機のスピードアップや原料原単位の改善にも貢献いたします。



PEO未添加



PEO 500ppm添加(対パルプ)

PEO未添加ではスポットが表れるのに対して、PEOを添加することにより、パルプが均一に分散し、スポットがなくなっていることが分かります。

■所在地:大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号

■電話番号: 06-6220-8551

■ホームページ: www.sumitomoseika.co.jp/

## 株式会社TJMデザイン TaJima LDンジフード営業部

#### キッチンハウス 立川ショールームオープン







### kitchenhouse

このたび、多摩エリアのお客様に、より手軽にキッチンハウスをご覧いただけるよう、約20年ぶりに立川市に新たなショールームをオープンいたしました。約180坪のスペースには、オーダーキッチンの「kitchenhouse」とパッケージキッチンの「GRAFTEKT」を併せ17セットのキッチンを展示しております。

キッチンハウス創業以来、進化し続けるエバルトを中心に、框・突板・塗装扉を加え、さまざまな表情のキッチンをゆったりとご覧いただけるショールームです。

ファサードは、岡山ショールームに引き続き、隈研吾建築都市設計事務所がデザイン監修をしています。アプローチまでの心地良い庭を通り抜けた先に広がるキッチンハウスが創る上質なキッチン空間を是非一度ご体感ください。

〒190-0013東京都立川市富士見町7-39-5 TEL:042-512-5023(完全予約制)

FAX:042-512-5025

**営業時間:**10:00 - 18:00

定休日:水曜日(祝祭日は営業しております)

詳しくはホームページをご覧ください。

URL: http://www.kitchenhouse.jp



ブランド名:GRAFTEKT カラー:メルクリオ&アッシュベージュ (10/2発売開始)

### こんなお話も

#### 「ソリッド感」「期待重量」

TJMデザインは創業一世紀を迎えた頃、さらなる飛躍を目指して事業分野の多角化を図りました。建築工具専門メーカーで培った開発、設計、製造、販売の経験を生かし、オーダーキッチン分野、レンジフード分野などへ事業を展開しています。

当社が大切にしている言葉に「ソリッド感」「期待重量」があります。これはガタガタ せずしっくりしている、見た感じもどっしり感があって手にした時に外観よりもわずかに 重く満足感がある、というような五感による評価なのです。ユーザー目線で高品質を求め る、それは当社のDNAであり総合的なクオリティーのことだととらえています。



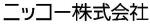
アルミニストロック25

■所在地:東京都板橋区小豆沢3-4-3

■電話番号:03-3969-6836

■ホームページ: www.tjm-rangehood.com/







#### 創業111周年を迎えました

これまでの感謝の想いをこれからの挑戦に変えていこうという誓いを込めて、 全社員からの公募で創業111周年記念マークと合言葉「1人の1歩は未来への 大きな1歩」を策定しました。

#### 1人の1歩は未来への大きな1歩

#### 111年の歩み

1908年(明治41年)旧加賀藩主前田家と当時の有力者らにより、日本硬質陶器(現ニッコー株式会社)を金沢で創業。食生活の洋風化とともに日本の家庭に洋食器を広めました。また新たな事業として、FRPの加工技術を開発し、樹脂浴槽や家庭用浄化槽の製造販売、食器の技術を応用した電子セラミックなど事業の多角化を進めてきました。現在は陶磁器・小型/大型の水処理機器・オーダーシステムバス・機能性セラミックを扱う5事業部となり、暮らしを豊かにするものづくり・ことづくりを行っています。

#### 伝統と実績

- ・純白色の陶磁器ファインボーンチャイナは一流ホテルやレストランで愛用されています。
- ・住設分野は59年の実績があり、浄化槽については開発・製造から維持管理までトータルでサポートできる体制が整っています。
- キッチンの生ごみを粉砕し、専用の排水処理槽で分解するディスポーザーシステムは、首都圏のマンションを中心に500件以上の納入実績があります。
- ・オートクチュールのシステムバス「バンクチュール」は、高い技術と提案力によりライフスタイルを描くブランドへと進化を続けています。
- ・機能性セラミックは、自動車の制御装置や家電、通信機器など幅広い製品の高性能化、コンパクト化 に役立てられています。



純白のファインボーンチャイナ



処理性能BOD10を実現した 小型浄化槽



大型のディスポーザー 排水処理機



精密機器に使用される 機能性セラミック



オートクチュールシステムバス BAINCOUTURE

### こんなお話も

#### 環境大臣がニッコー埼玉工場を視察

2019年7月31日(水)、当時の環境大臣の原田義昭氏が 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進する ため、埼玉県行田市にあるニッコーの埼玉工場を視察され ました。当社の取り組みや浄化槽システムについての説明 を受けられ、浄化槽の製造工程を見学されました。



ニッコーの開発担当者より 説明を受ける原田大臣



ニッコー埼玉工場前にて

■所在地:石川県白山市相木町383

■電話番号:076-276-2121

■ホームページ: <u>www.nikko-company.co.jp</u> バンクチュールブランドサイト: <u>www.baincouture.jp</u>



### 二一二一技研産業株式会社





【C-600DX】 S41年 サンウエーブ工業(株) 発売の洗面化粧台 第一号製品

嵐山工場

ニーニー技研産業は1966年3月、旧国鉄のディーゼル機関車向け エンジン凍結防止器の製造販売から事業をスタートし、現在では、 「洗面化粧台ミラーキャビネット」を主力とする住宅設備機器の生産 を手がけています。

ハイレベルな真空成形技術を核に、高精度かつ多品種な製品を一貫生産できる体制を持つ弊社ですが、その歴史を振り返る時、決して忘れてはならないのが創業者・長柄和雄がサンウエーブ工業(株)の開発デザイン部隊に加わり、一緒にデザイン・設計、第一号が誕生し大ヒットとなった洗面化粧台「C-600DX」でしょう。

「C-600DX」は鏡の周囲がすっきりとした当時としては画期的なデザインですが、このデザインを実現し、さらに大量生産するために社内でさまざまな技術開発が行われてきました。そしてこの「C型」をベースに次々と弊社独自のオリジナル製品を開発・生産し今日に至っています。

さまざまな技術・製品が日替わりのように現れる現代においても、「C-600DX」を生み出した弊社の技術力・技術者魂は、今も連綿と社員ひとりひとりに受け継がれています。

### こんなお話も



エコアクション21 10年継続の盾と感謝状



記念式典での記念写真

弊社は、環境負担の軽減が企業の社会的な責務であることを認識し、持続可能な循環型社会の形成と、自然との共生社会を目指し、地球環境の保護・保全活動に事業を通じて貢献しています。

環境省が策定している「エコアクション21」に認証・登録しており、毎年「環境 経営レポート」をホームページ上にて公開しています。

このたび「エコアクション21」認証・登録から10周年を迎え、平成31年3月13日に開催された記念式典において、一般財団法人 持続性推進機構より記念品の盾と感謝状が授与されました。

長年にわたるエコロジー活動への取り組みが評価されたことに社員全員が 喜びを感じています。

取り組み内容においても、特に昨年度は、

省エネ・二酸化炭素削減目標△0.5%に対し実績△77.7%、

電力消費量の削減目標△0.5%に対し実績△10.2%、

廃棄物排出量の削減目標△5.0%に対し実績△22.7%

と、複数の項目において中長期目標を大幅にクリアすることができました。 今後も引き続き、すべての人にとって住みよい環境作りを目指して、弊社の

事業を通じてエコロジー活動に取り組んでいきたいと思います。

■所在地:東京都千代田区神田紺屋町11番地

■電話番号:03-3254-9061(代)

■ホームページ: www.ni-ni.jp

### 〇日立グローバルライフソリューションズ株式会社

日立グローバルライフソリューションズ(株)は、日立グループの注力5分野の一つである「ライフ」ソリューションの一翼を担う企業です。日立グループにおいて、お客さまの暮らしにもっとも近いポジションを生かし、家電や空調などのプロダクトやサービス、ソリューションを提供しています。

弊社は、これまで家電・空調の販売・サービスを行ってきた日立コンシューマ・マーケティング(株)と、家電の設計・製造等を行ってきた日立アプライアンス(株)の合併により、2019年4月1日に誕生しました。商品企画から設計・製造・営業、アフターサービスまでのバリューチェーンを統合することで、社会構造の変化やお客さまのライフスタイルの多様化にスピード感を持って対応します。

デジタル技術や日立グループの総合力を生かし、生活課題を解決するプロダクト・サービス・ソリューションをお届けすることで、世界中の人々のQoLを高め、お客さまの豊かな暮らしに貢献する「生活ソリューションカンパニー」をめざしています。

今後は、経済価値のみならず、社会価値・環境価値向上への取り組みも加速してまいります。



主な取扱製品・サービス一覧

### こんなお話も

キッチン・バス工業会の皆さまにおなじみのIHクッキングヒーターとエコキュートの新製品を10月以降、順次発売しています。

日立独自の「ラク旨グリル&オーブン」で多彩な料理をもっと手軽においしく作れる、コネクテッド家電の3口IIIカッキングヒーター「火加減マイスター」HT-M350T・M150Tシリーズ4機種は、グリル部のオート調理に、解凍の手間を省いて冷凍の魚をそのまま調理できるメニューを追加するなどオートメニューを拡充しました。また、新開発の「日立IIIカッキングヒーターアプリ」でスマートフォンと連携し、利便性を向上させました。さらに、上面にガラスを用いた(排気口を除く)「フラットトッププレート[プレミアム]」を採用し、奥まですっきり美しく、キッチンと調和するデザインを実現しています。

エコキュート「ナイアガラ タフネス」BHP-FW46SDなど7機種は、タンクのお湯を熱源として繰り返し使用する独自構造の採用により、配管詰まりの原因となるカルシウムなどの流入を低減します。また、ステンレス配管と樹脂製継ぎ手部品の採用により、腐食に強い給湯配管を実現しました。これらにより、硬度の高い水道水(高硬度水)や井戸水にも対応できます。また、無償保証期間5年間を実現しました。



エコキュート BHP-FW46SD

■所在地: 東京都港区西新橋二丁目15番12号 ■電話番号: 03-3502-2111 ■ホームページ: www.hitachi-gls.co.jp/

メラミン樹脂を含浸させることで耐摩耗性能を圧倒的に向上させたコート紙をパーティクルボード両面に貼ることで完成する低圧メラミンパーティクルボード。これが弊社のメイン商品であり、日本向けにもすでに30年以上供給させていただいております。

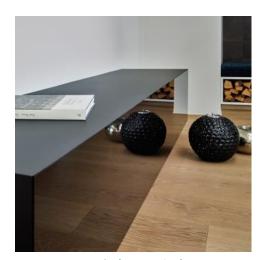
2018年にはアルゼンチンにも工場が完成し、弊社初のヨーロッパ以外の工場となりましたが、2020年には、アメリカのノースカロライナにヨーロッパ以外の第二の工場の完成が予定されております。日本市場をはじめ今後海外市場での販売にますます力を入れて取り組ませていただく所存です。

商品群としても、無垢同様の手触りを演出したfeel woodシリーズは無垢突板の代替品として発売当初より大変ご好評をいただいておりますが、それ以外にも塗装工程を追加し、表面をつや出し、また指紋レスつや消しに仕上げたPerfectSense、芯材をパーティクルボードではなくハニカムボードを使用し、軽量化を追求したEurolightボード等、多種多様な商品を増やしております。

2020年1月からは弊社の色コレクションであるEDC(Egger Decorative Collection)の刷新を予定しております。弊社板材をご使用いただくことでヨーロッパの最新のデザインを日本の皆様にも手軽に身近な商品に採用していただき、デザイン感あふれる生活を実現していただけましたら幸甚です。



MORE FROM WOOD.



つや消し柄+つや出し柄



本社•事務所棟



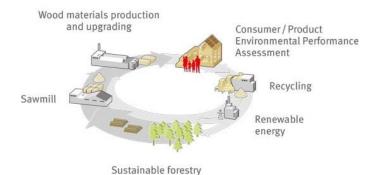
指紋レスマット

### こんなお話も

「MORE FROM WOOD」これが私たちの会社方針です。木材にどんどん付加価値を付けて商品化をしています。

また弊社のメイン商品であるパーティクルボード自体が木材チップを有効利用した地球環境にやさしい、循環可能商品となっております。

現在、世界的にも注目されている当分野においてもリーディングカンパニーとして管理された木材を使用し、自社での接着剤生産比率を上げ、また自社工場内のバイオマス発電所を利用し、自社にてできる限りの生産管理をしています。



原料となる木材チップのリサイクル材としての循環

FROM WOOD. 会社精神

MORE



St.Johann工場内バイオマス発電

■所在地:東京都中央区銀座1丁目9-5池田ビル2F

■電話番号:03-6228-6470

■ホームページ:www.egger.com

当社は1918年に創業し、昨年9月に100周年を迎えることができました。 ムラコシ精工グループは『絶対品質』を目指し、社員一丸となって日々の 業務に取り組んでいます。

それに加えて、住インテリア事業部の開発コンセプトである3+(サンプラス)「静か(Silent)」「安全(Safety)」「なめらか(Smooth)」の3つの要素を解決し、『より快適に、より安全に、より使いやすい』製品を提供します。そして3つのSを追究することにより、お客先の満足(satisfaction)を高めてまいります。

次の100年に向かって高品質・高性能のニーズに応え、お客様の安全や快適さをより高めてまいります。

# 株式会社と与コリ精工。



Silent (静か) Safety (安全) Smooth(なめらか)

→ 3つのSから生み出される

Satisfaction(満足)

### こんなお話も

当社のグループ会社である株式会社ムラコシアジアについてご 紹介させていただきます。

1998年9月韓国で設立し、昨年20周年を迎えました。 現在12名の現地スタッフで運営しております。

7月には(KOREA BUILD)がCoex Convention and Exhibition Center(ソウル市)にて5日間開催された展示会に、マンションデベロッパー、ゼネコン、リフォーム関連企業向けに韓国国内のニーズに合わせた新製品を多数展示致しました。

日本と韓国の間には政治的な主張の隔たりは依然としてあるものの、ビジネスの世界では全くと言って良いほど影響がなく、大変 盛況のなか無事展示会を終える事ができました。

その後の反響も大きく、商品の問合せが多くきている状況です。

将来的には韓国向け製品が日本国内に逆輸入される・・・そんな日が来るかもしれませんね。



耐震ラッチ紹介画面



展示会風景



アルミ製品紹介

■所在地:〒184-8595 東京都小金井市緑町5-6-35

■電話番号:042-384-0330

■ホームページ: www.murakoshiseikou.com



### 都市対抗野球

#### 大阪ガス株式会社・東邦ガス株式会社

### 都市ガス2社が出場!(大阪ガス・東邦ガス) 東京ドームで熱い戦いが繰り広げられ、工業会も熱く応援しました!

元常務理事 島崎 喜和

#### ■大阪市代表 大阪ガスを応援

今年も暑い、熱い夏がやってきました。この時期、都市対抗野球大会が開催されます。毎年幾つかの会員企業が出身地域での代表枠を獲得し、全国大会制覇を目指して、開催球場の東京ドームに集まります。7月14日(日)、大阪市代表の大阪ガスの初戦は、強豪JFE東日本(千葉市)でした。

昨年の大会では神戸市・高砂市代表の三菱重工神戸・高砂との優勝 決定戦まで勝ち進み、見事初優勝を果たしています。「当然、連続優勝!を目指す」(大阪ガス本荘武宏社長)のお気持ちに応えるべく、選 手および応援団は、厳しい練習・努力を積み重ねて試合に臨んでいま す。昨年に続き工業会に応援要請があり、事務局が中心となって呼び かけ、40名を超えるキッチン・バス工業会有志が東京ドームに集まりま した。

試合は、大阪ガス大応援団の貢献もあり、まるで優勝決定戦を思わせる激闘ですばらしい試合内容でした。タイブレークにもつれこみ、12回表、それまでの均衡を破る2点を追加し、「今年も勝った、優勝だ!」との歓喜の雄叫びを上げました。しかし、12回裏に逆転を許し、連覇を目指して挑んだ今大会は、悔しくも敗退となりました。思わず嗚咽がこみ上げてしまいました。

このJFE東日本が結局最後まで勝ち進み優勝となりました。大阪ガスの選手が最後まで集中を切らさず戦い抜いた姿勢は見事でした。大阪ガス応援団の皆様も酷暑の中で一丸となって拳を振り、声を張り上げ、戦う選手に向けての全幅の信頼を置いた応援を繰り広げていました。いい試合の応援に参加できた事を感謝します。次の社会人野球でのご活躍を祈願します。





大阪ガスの応援風景

#### ■名古屋市代表 東邦ガスを応援

7月18日(木)、激戦の東海地区から名古屋市代表枠を勝ち取った東邦ガスの応援です。今年は東邦ガス山田勝司野球部監督が「Attack! ~すべては勝利のために~」というチームスローガンを掲げ、戦う集団となっており、応援が楽しみでした。試合当日は後楽園地区全体が燃える釜の中にいるような暑さでした。対戦相手は、強豪パナソニック(門真市)です。

球場ゲート入り口からすでに戦いは始まりまっています。まず炎天下での受付までの長い行列と待ち時間。そして対戦相手パナソニックの大応援団からのプレッシャー。流通店の皆様からの熱烈応援動員でしょうか。しかし、そんな心配を吹き飛ばす東邦ガス野球部員の気迫、大応援団の意気込みを球場内で体験できるのはもうすぐです。

試合開始は10時、予想通り相手チームのパナソニック応援席はみるみる埋まっていきます。一方、こちら東邦ガス側もしっかり埋まってきてます。また、応援団の動きも従来と違っているようです。これまでは何と無く遠慮した応援団の動きがありましたが、今年は何か違うぞ!

応援団員の腰の据わった姿勢から飛び出る拳の振り方、掛け声、それぞれの応援団員の覚悟が伝わってきます。試合は、強豪パナソニックを4回まで投手が完全に抑えると、その裏東邦ガスが右中間へのツーベースヒットで1点先制。応援席の一同全員が立ち上がり、勝利の雄叫びを挙げて選手を激励しました。その後も7回まで完全にパナソニックを

抑えて試合は白熱、誰もがこれはいけると感じた瞬間です。しかし、8回表のパナソニックの攻撃、2死一、二塁まで追い込みましたが、代打が登場し、逆転となる二塁打を打たれ、これが決定打となり、東邦ガスは敗退です。

非常に惜しまれる試合でしたが「Attack! ~すべては勝利のために~」というチームスローガンを掲げた戦う集団に相応しい見事な選手の活躍でした。試合後のエールの交換では、双方の応援団が相手チームをたたえる気持ちのこもったエール交換となり、感動しました。







■開催地:東京ドーム ■開催日:2019年7月13日から13日間 ■参加:36チーム ■ホームページ:www.jaba.or.jp/tajkaj/2019/toshitajkou/

技風堂々No 014 発行責任者:広報専門委員会 委員長:柴崎 和彦(クリナップ) 編集長:松本 賢治 (TOTO) 編集委員:井上 知春 (ナスラック) 大崎 和美 (東京ガス) 滝川 光紀 (積水ホームテクノ)

田中 佐知子 (三菱ケミカル・クリンスイ) 塚原 敏夫 (パロマ) 中島 宏文 (タカラスタンダード) 中村 覚 (TOTO) 藤田 東一 (LIXIL) 山下 藍(渡辺製作所) 高木 利一 (事務局) 田中 朋子 (事務局)